

平成 29 年 2 月月例記者会見

会見記録

1. 記者会見内容について

【説明】

【採用プロモーション動画「#生駒は違う」を公開】

市長 まず、採用の話からですが、すでに記事にいただいたりもしてまして、大変ありがとうございます。まずは動画を。

(動画の上映)

市長 動画は、王道だと思いますけども、お配りしてる記者報道資料の中にもありますけども、ポスターは比較的ユニークなものになってます。これを見てもらった人がきちんと今の動画を見てくれるように誘導して、動画を見た人がさらに今度は生駒市で 3 月 18 日に採用説明会をしますけども。そこでさらに今動画に出てたような人たちも含めてリアルな説明をブースで聞いたり、私からも話します。「PR 全体を狙い」と書いてますけども、そういうことを考えてやってもらってるということで。ただ奇を衒ったものではなくてこれで目を引いてしっかりと動画につなぎ説明会につなぎこむという非常に戦略的な広報が出来ると、私も自画自賛ですけども、これだけ出来る自治体は全国で生駒市くらいしかないだろうというふうには思います。お配りした資料の 1 ページ目にもありますが、日経グローバルさんが調べた範囲でという前提ではあるんですけども、書いてありますように全国自治体の応募倍率では関西 1 位・全国 8 位と。ただ、これも 1 位とか 2 位とかのところは募集が 1 人とか 2 人とかそういうところが多いので 20 人以上採用している自治体でいえば生駒市は圧倒的に全国 1 位です。そういう意味ではかなりの成果も出てますし、それを支えているのはこういうプロモーション戦略だというふうにその辺は自信を持ってやってるということでございます。2 ページ目の一番下にありますが職員採用試験説明会が 3 月 18 日にございますので、こちらの方もまた、ぜひ取材をしていただければ有難いかなと思っています。1 つ目は以上です。

【生駒市テレワーク&インキュベーションセンター3月13日にオープン】

市長 2 つ目のイコマド。イコマドですが、テレワーク&インキュベーションセンターの、これも公募によって「イコマド」という愛称になりましたが、2 つあって 3 月 13 日には施設の開所式になります。中を内覧していただいたりするのですが、この 3 月 13 日で、3 月 14 日から一般使用を開始します。3 月中は 1 ページ目の一番下にありますように 3 月中は無料で体験という様な形にさせていただこうかなと思っています。この資料の 2 ページ目ですけども、オープニングイベントというのをまた別に行います。これが 3 月 25 日の 2 時からということで、場所はセイセイビルでやりますけども「さくらインターネット」非常に有名な会社ですけど、こちらの田中さんにお話をいただいたりでありますとか、そもそもこのイコマドの目的を今回指定管理を受けていただきます「ワイズスタッフ」の田澤由利さんから、彼女はも

うご存知のとおりテレワークの日本の第一人者でありますので、生駒ご出身ということもありまして、非常にこのセンターにける思いが強いということでございます。この資料の中にも書いてありますように、もちろんテレワークという機能がありインキュベーションという機能があつてコワークというものもあるんですけども。ここにあるように子育てと仕事の両立とか介護と仕事の両立とかそういうことももちろん目的なんですけど、おそらく 25 日に田澤さんから説明があると思いますけども、今政府の働き方改革というようなことがありますけども生駒市でそれを考えた時に私はこれは働き方の第 3 の道っていうのをきちんと具体的な手段と合わせて生駒市民の人に提供できる場かなと思います。第 3 の道というのは、いわゆる生駒市は専業主婦の方も多いいいというのがあります。また保育園を生駒市もどんどん整備していますけども、保育園を整備してフルで大阪に働きに行ってもらったりとか市外で働くとか。もちろん市内もそうですけども、そういう働き方もありますけど、この第 3 の道というのはテレワークで大阪とかそういうオフィスに行かなくても働くというような働き方でありまして、もちろんインキュベーション機能もありますから創業ということもあると思いますし、コワークというようにみんなでまとめてこのセンターで仕事を受注して働ける人が作業すると。子どもが風邪とかで働けない人はちょっとお休みをするというような形の仕事の仕方でもここで出来るようになると思いますし、もっといえば、生駒市が力を入れてやっております地域協働とか共創とかいう話ですね、地域での活動と家庭と仕事を良い形でここで両立させていくと。理想としてはあるんですけども、なかなか言葉だけが政府も踊ってるところがありますので、テレワークとかインキュベーションセンターをしっかりと活用することで、今言ったような働き方の第 3 の道ですね、国も専業主婦かその保育園を作つて待機児童をゼロにするかというところで議論が止まっていますけども、そうじゃなくて地域で働くとか地域で活動する、働くということは家庭とか地域での貢献、地域社会への貢献というのと、生駒市では全部ワンセットですから。働き方改革というのはまちづくりとか地域での活動の仕方そのもので、働き方のところだけ見てたら働き方改革なんて出来ないよなというのが我々の結論で。ちょっとそんな事をお話しながら、25 日は私からもそんな話をするかもしれませんし、また田澤さんをお願いするかもしれませんが、生駒市のセンターっていうのは単なるテレワークのセンターではございませんということで、そういう信念を持ってやっていきたいと思ひます。

【北地区で“みっきランド”開始】

市長 3つ目がみっきランドですが、北地区のはばたきで5月からみっきランドのような形の施設をオープンするということでもあります。今のご案内のように、セイセイビルのみっきランド、非常に利用者が増えて土日オープンしましたし、父親の育児の場としても非常に活用いただいておりますし、年配の方・おじいちゃん・おばあちゃんも来てくれますし、子育ての相談の場所ということでも非常に活用いただいております。あと南は児童館というのが小平尾の方にあります。北の方には、いわゆるみっきランドとか、こういう児童・子どもを遊ばせるような場がなかなか無いなあとということで、ご要望をいただいていたこともございますので、それも受けまして、はばたきに5月23日からみっきランドのような形でオープンをしたいと思ひています。概要のところを書いておられますけども1階の和室の隣、駐車場から入ってきてトイレがありますけど、その隣くらいに写真にあるようなプレイルームがありまして、土曜日・日曜日は結構イベントの託児とかをもしてるような場所なんですけども、ここを火曜日から金曜日のお昼の時間帯にみっきランドと同じような形で保育士とかのOB・OG・アドバイザー

一をきちんと常駐させる形で小さなお子さんとその保護者の方に活用いただくということを考えております。月曜日がはばたき全館閉館になるものですから、あと土日は先ほど申し上げたようなイベントの託児でかなりの活用があるので、曜日としては火曜日から金曜日ということになっております。午前・午後の入替制となっておりますのは、部屋がみっきランド、セイセイビルのと比べてかなり小さいので、なるべく多くの方に利用していただくということです。ここだとどうしてもお父さんお母さんと一緒に入ると10組程度くらいしか入れないこともございますので、一度、午前と午後で入れ替えして、午後になんかたくさん入りませんよということであれば、午前ご利用いただいていた方にも入っていただけるというようなそんな形にしようかと考えてくれてるようです。ここは図書館が隣にありますので、その本を持ってきてもらって読んでいただいたりとか、そういう形で北地区でもこういう拠点を作るということを考えております。いちばん下にありますように名称を投票により決定するという話も書いてありますので、こんな事もしながら、ここも子育ての一つの拠点・相談ができる場所になればいいかなというふうに思っております。

【第2回ビブリオバトル全国大会 in いこま】

市長 4つ目がビブリオバトルの全国大会です。3月19日の日曜日に去年も開催したビブリオバトルの全国大会、年齢制限が無い誰でも参加できる全国大会としては、去年生駒でやったのが初めて全国初だったんですけども、その2回目を今年も生駒でやります。今年は去年と違っているところと申し上げますと、去年は全国大会と言いながらもなかなか沖縄の端までとか北海道の端までというところまで手がカバーできてなかったんですけど、今年は、北は北海道から南は九州と書いてますね。沖縄はないのかもしれませんが、ほぼ全国をまさにカバーする形での全国大会になったと、対象範囲が広がったというところが1つ大きいかなと思います。もう1つは、12月に市内の中学生大会やりましたが、そこでチャンプになった清家君がバトラーとして予選から参加する。かなり厳しい戦いだとは思いますが、中学生らしいバトルを展開していただければ有難いなあというふうに思ってるのが2つ目。3つ目は朝井リョウさんですね、『何者』で私も今実際読んでて途中なんですけど、直木賞を受賞された朝井リョウさんがいらっしゃいます。めちゃくちゃ若い人ですね。まだ30歳になっていない、28歳くらいの人ですけども、2ページ目にプロフィールが書いてますが、彼が来てくれるということで、ビブリオバトルの予選と決勝の間にトークイベントがあると思いますが、非常にたくさん本が好きの人が多分全国から集まるんじゃないかというふうに思っております。ぜひ、またご取材もいただければ有難いかなと思っております。

【平成28年度生駒市環境シンポジウムを開催します】

市長 最後に環境シンポジウムでございます。今年度の環境シンポジウムは地域新電力、電力の自由化を受けて色々な新電力が出来てますけども、それについて議論すると。特に生駒市も今自治体が主導する新電力という形で色々検討を進めておりますので、自治体がこういう地域新電力をやることってというのは、市民にとってより広く日本にとって社会にとって何が意味があるのかというのを、きちんと議論をして市民の皆様にもお話したり、逆に問いかけたりにする場にしたいと思っております。内容のところでございますけども、基調講演は柏木孝夫先生です。彼は本当に日本のエネルギー分野の第一人者中の第一人者でありますので、こういう新電力についても非常に造詣が深いと、また生駒市環境モデル

都市なんですけども、環境モデル都市の審査委員なんかもしておられて非常に生駒市の動向も気にかけていただいておりますけども、柏木先生からお話しをいただくと。第2部はパネルディスカッションとして柏木先生にもコメンテーターとして入ってもらいながら進めていきますが、パネリストに福岡県みやま市のかたが入っています。みやま市はこの自治体新電力のある意味、先駆者というところがございしますので、その状況とかお話いただいたりすると、今生駒市の新電力を立ち上げるに際して、一般社団法人の市民エネルギー生駒からお力をいただこうという方向で検討しております。彼らが入ってくれることになると、こういう市民による電力・エネルギー会社が参加する全国で初めての自治体電力になるということになるかと思っております。ご案内のように、この市民エネルギー生駒ですけども環境大臣のグッドライフアワードの全国2位ですね優秀賞を取られておりますし、あと先日報道発表させていただいたと思っておりますが、新エネルギー財団の会長賞も受賞されて、非常に全国的に高く評価されております。こういうところに入らせていただくことでまさに市民が自らもちろん電力を地産地消するというのもありますけども、市民と一緒にエネルギーを切り口にまちづくりをしていくというようなそんな事を考えております。ぜひ、こちらも取材というかお顔を出していただければ大変有難いと思っております。

私からは以上です。

【質疑等】

〔生駒市テレワーク&インキュベーションセンター3月13日にオープン〕

記者 テレワーク&インキュベーションセンターですけども3月中は無料で、これは生駒市民のみ？対象になるのは？

市担当者 ご利用の対象ですけども、広くお披露目の意味もございしますので市民に限るということはありません。

市長 4月以降も市民でなければいけないということではありません。

市担当者 初めは市民はともかく利用していただくというのが大事かと思っておりますので。

記者 市外の方も使える？

市担当者 はい。

記者 ご利用の際には事前申し込みで？

市担当者 そうですね。空いていれば当日ということももちろん考えられますけれども、特に1日2日で終わる方ばかりではないような施設でございしますので、空き状況とか事前に問い合わせさせていただきましたらということを考えております。

記者 イメージわかないんですけど、キャパとか間仕切りとかどのくらいの人が仕事できるのとか、そういうのってあるんですか？

市担当者 実は3階と4階でございまして、間仕切りをしてある部屋が・・・

記者 スペックみたいな情報あれば別紙でいただけたら、その方がいいです。

市担当者 分かりました。大体、どのようなものがあるのかというのが、部屋がいくつあってとかいうような形ですね。

記者 何人くらいの仕事が可能なのか？

記者 このイコマドという名称は8月7日に決まったんですか？

市長 はい、そうですね。全国公募してその中から選びました。

記者 このロゴはどなた？

市担当者 ロゴはテレワークセンターの運営というのをワイズスタッフさんという会社でしていただいているんですけども、そこで原案を作っていただきまして我々でも一番良い物をということで作らせていただいたロゴでございます。

記者 何かコンセプトがあるんですか？

市担当者 「マド」ということですので、そこから広がっていくというような意味もありますし。

記者 四つの四角は窓をイメージしてる？

市担当者 そうですね。

記者 さらに右肩上がりなのは？

市担当者 広がっていくというのがありますし、生駒というと生駒山というのがありますので。

記者 それは緑色？あるいは山並みのイメージ？

市担当者 緑はそういうことになりますね。

記者 緑がね。この右肩上がりなのは広がっていくイメージ？

市担当者 ええ、はい。

記者 何が広がっていくイメージ？

市担当者 市長からも申しましたけども新しい働き方ですね、そういったものが広がっていけばということ。

記者 赤は？アクセント？

市担当者 赤は人目を引くようにという意味もあるんですけど。

記者 アクセントね。

市長 イコマドの「窓」でもあるんですけど下に書いてあるように「IKOMA・DO」なんですよ。さっき言ったように働き方改革とかいうだけじゃなくて、何かアクションがここでしっかりと起こるように「DO」でもあるので。

記者 いいですね。いい名称ですね。

市長 僕もいいなと思いました。

記者 「いこまち」・「イコマニア」・「イコマド」

市長 それは生駒市だから、「いこま」なんですけど。

記者 テレワークで申し込みは事前、始まってですか？

市担当者 まだお試し期間でございますので、その辺りは3月中は経済振興課の方にお問い合わせいただけたらと考えております。4月からは指定管理者の方で運営が始まりますけども、当然4月1日にいきなりというわけにはいきませんので、事前にはお知らせ・ホームページ等でお知らせしていくという形になります。

記者 指定管理者さんはワイズスタッフさん？

市担当者 ええ、はい。受けていただくということで。公募の結果決まりましたので。

記者 その際の連絡先は？

市担当者 ごめんなさい。近々。

記者 その時でいいです。

市担当者 とりあえず、現時点では経済振興課の方へお問い合わせさせていただきたいということで、よろしく願いいたします。

記者 デモンストレーションで、どんな事やるんですか？

市担当者 オープニングイベントの件ですかね？これは、基調講演ということでさくらインターネットの方に来ていただいて講演していただくということと、施設を見ていただいてというようなことも考えております。その講演が終わった後にですね。

市長 デモンストレーションはテレワークを実際に機械を見たり実演してもらったりだとか中の施設も色々ありますのでこんな感じで使うんですよとかいうことも含めて機材の実演も含めて施設の紹介と合わせてやるということなんです。主にテレワークの説明だと思えます。

記者 県内ではどれくらいあるんですか？

市長 天理市と三郷町ですかね。生駒市のテレワークセンターはまたちょっと違う。やっぱり大阪に通う人が多いところで敢えてテレワークセンターするということになるので、その辺が 25 日田澤さんから多分話があると言ったのがその辺なんですけども。

記者 器としては似てるけど、ちょっと違う？

市長 三郷町とかすごく立派な施設なんでね、器としては向こうの方が上かもしれませんが。中身は、またちょっと違う形にしたいと思えますけど。

〔北地区で“みっきランド”開始〕

記者 みっきランドの 3 つの名称って決まってるんですか？候補は？

広報広聴課長 まだ決まってないです。

記者 いつ頃？大体でいいですよ。

市担当者 みっきランド 3 つの名称の候補はいつ頃決まりますか？と。

市担当者 3 つの候補は決めてるんです。

記者 こういう資料作るんだったら入れといてください。

市長 すみません。

市担当者 「北コミみっき」・「北プチみっき」、プチって小さいっていう意味の「北プチみっき」

記者 カタカナ？

市担当者 カタカナです。それから「はばたきみっき」その 3 つを候補にしております。

記者 資料に書いといてほしいなあと。思って。

市長 すみません。

記者 広さは何㎡でした？

市担当者 35 ㎡でございます。

記者 みっきは？本当のみっきはどれくらい？だいたい。何分の一くらい？

市担当者 15%くらいです。みっきランドの。

記者 何分の 1 という表記はできないですね？15%くらいの広さね。だからプチとかミニとかいう言葉なのね。現在は何なんでしたっけ？現在は何部屋なんですか？もともと。

市担当者 プレイルームという貸室です。

市長 子ども関係のイベントとか集まりとかもあるし、それ以外もあるんですけど。

記者 似たような利用はされてた？

市担当者 はい。イベントの時の参加者の託児というところでお使いになってると聞いております。

記者 あっちの方は小さい子多いから、利用者多そうですね。

市担当者 はい。

〔第2回ビブリオバトル全国大会 in いこま〕

記者 ビブリオバトルで北は北海道、南は九州、九州のどこですか？

広報広聴課長 分かりません。

〔採用プロモーション動画「#生駒は違う」を公開〕

記者 いつもながら、特徴のある就職採用のポスターなんですけどもチラシは付けていただいているんですけどもポスターはA2くらいで作成して。

市長 ポスター（掲示を示して）あれです。

記者 大学の就職課とか、そういうところに送られたりしてる？

市長 もちろんしています。

〔スポーツフェスタ 2017 開催〕

市長 スポーツフェスタも時期が固まったなという感じもしますが、1つ1つそれなりにすごいイベントが4つこの時期にワーツとあるんですけど、是非またお越しいただければと思います。私も全部行くかな？基本的にたぶん全部顔出します。

2. その他

〔行政経営会議会議録の情報公開の件〕

記者 記事にしましたけども、情報公開の関係でですね、行政経営会議の会議録の不存在は違法であるという審査会の決定が出たんですけども中身はご存知ですね？市長は。

市長 中身というのは？

記者 答申の中身を。

市長 ザッと見てます。

記者 違法とまで指摘されてるんですけども何かコメントはありますか？

市長 条例に違反してるような事だと言う事だと思いますけど、いただいた答申を踏まえてきちんと適切な対応をしていきたいと思っています。

記者 市の主張がほぼ認められてないということですね。公用文書でない、行政文書でないという、かなり私から見れば稚拙な主張をされている。結局それが覆されて、それは無理だろうという、さすがに審査会でもという決定だと思うんですが、市の主張としては別にそういう判断でしたから間違いはなかったということでもいいんですかね？

市長 答申いただいたので中身をちゃんと精査はしますけど、1つは行政経営会議というものの性質とか議事録というものの性格っていうものが、どういうふうに判断するかというところで。そこについては色々我々としては、稚拙とおっしゃいましたが、思うところはありますが、それが組織内どういうふ

うに使われているか共有されているとか、形式なところと大きく 2 つ、両方あると思うんですけど。特に組織内でどう利用されるか、これはこの話だけじゃないんですけども、こういう議事録とか議事要旨とかを作るっていう時に何のために作っているのかっていうのとか。当然情報公開とかも私は何でもかんでも公開すればいいっていうふうな立場には立ちませんけども、基本的には公開すべきだと考えています。どういうふうな会議のものはやっぱり出して、さすがにこういうふうな会議の議事録っていうのはそもそも作るのかどうかっていうのもありますし。出すべきでないって判断すべき物もそれはあると思ってますので。ただやはり職員も含めて当然最終的には私の責任ではありますけれども、作る文書の使い方とか意図というものはあまり考えずとにかく議事録作るとか、そういうふうなところはやっぱり今回の答申も含めてきっちりと反省して考えていかないとアカンところがあるなあというふうに思います。

記者 文書として市として認定しないというところを問うてるんですね今回は。それを開示するとかしないとか一部開示するとか控えにするということではなくて、市として不存在として判断をやっぱり違法であると言ってるわけですけど、その認識とするとやっぱりその点は若干市として甘かったなり、そのおかしかったという認識はあるんですか？

市長 本当に個人のメモっていうようなことで留まっているようなものは、私は情報公開の対象にならないと思ってますけども。今回は形式的に見た時にも一部共有してたりとかそういうところで職員の意識とかそれを管理する管理職とかの意識。あとは当然全体的な私の責任も含めて形式的にもこれって単なる個人メモではないというふうに判断されてるわけですから、それはそういうご判断をいただいたということではあるんですけど、それが実質どういうふうに他の職員とかに実際ほとんど配られてなくて共有ホルダーにあったもののほとんど個人の私用として使ってたものではあるのも事実なんです。その辺が今回の審査会ではお認めいただけなかったということで。これはそのホルダーにある以上は共有されてたんだろうというふうなことで。そういう意味では事実上はそんなに広く共有されているものではないんだけど、その共有ホルダーにあったということで行政文書とみなさざるを得ないという、そういうご判断ですよ、これは。そういう意味では若干思うところもあるんですけど、同時になんでそういう個人メモなのにそういう保管の仕方をしたのかということもあるんで、すごくそういう意味では私としても忸怩たる思いもあります。

記者 そういう物を残しておいた職員の方に非がある、非があるという言い方をしないけども

市長 それも職員の責任でもあるし私の責任でもあるって言ってるじゃないですか。それは両方ですよ。職員の責任は私の責任ですから。

記者 削除しとけば良かったみたいに聞こえるんでね。

市長 それはそうですよ、個人のメモとして保存しておけば、それは出すべき物でもないし出す必要もないものでもあるし出すべき物でもないですから、それはそういう物は当然情報公開法とか条例に基づいても書いてあるわけですから、それはそういう物だと私は思います。ただ今回は、そういうふうなこともあるし中身は行政経営会議の議事録ですからオープンにすればいいってものじゃないと私は思ってますけども、全部開示できないかっていうと、もちろんそこは議論の余地はあると思いますけど、ただ行政経営会議っていうのは何でもかんでもフリーで全部オープンすべき議事録かという私はそうでないと思いますが、その辺りの事をきちんと私も含めて整理できてなかったなあというふうに思います。

記者 分かりました。1つだけ言っておくと、こういう事であんまり勿体無いなあいつも思うんですよ。第2工区の有識者懇の公開の話も含めてね。別に何にも隠さなくてもいいし堂々と判断してこれは非開示ですと言えはすむ話。批判されたり違法だって言われたりするっていうのは、どうも勿体無いなあと思うので、情報共有する姿勢を見せた方がいいと思います。ということだけ。ひと言。

(了)